

堀 江 正 弘 特別教授

役 職：グローバルリーダー育成センター所長、Young Leaders Program ディレクター
専門分野：行政学

学 位：MPA（シラキュース大学マックスウェルスクール）

略 歴：1970年 東京大学法学部卒
1971年 行政管理庁（後の総務庁、総務省）入庁
1972-1973年 シラキュース大学マックスウェルスクール（MPA 行政学修士）
1973-1974年 イェール大学管理科学部大学院（後の School of Government）
1981-1983年 臨時行政調査会調査員
1983-1985年 大蔵省主計局主計官補佐（主査）
1985-1988年 総務庁行政管理局副管理官、調査官、企画官
1988年 総務庁行政監察局監察官
1989年 臨時行政改革推進審議会主任調査員
1991年 総務庁行政管理局管理官
1995年 総務庁行政管理企画調整課長
1998年 総務庁長官官房総務課長、統計基準部長、国際連合統計委員会委員・日本政府代表
2000年 総務庁長官官房審議官（行政監察局担当）
2001年 総務省大臣官房審議官（行政管理局担当）
2002年 郵政事業庁次長
2002年 内閣官房内閣審議官兼内閣官房行政改革推進事務局長兼特殊法人等改革推進本部事務局長
2004年 総務省情報通信政策局長
2005年 総務省総務審議官
2006年 総務省退職
2006-2007年 総務省顧問

2001, 2002, 2005, 2006年 慶應義塾大学法学部非常勤講師

2000年 本学客員教授

2006年 本学教授

2009-2011年 学長特任補佐

2011-2013年 副学長

2009年- ヤングリーダーズプログラム・ディレクター

2013年- グローバルリーダー育成センター所長

2008-2014年 日本行政学会理事（2008-2010年 国際交流委員長）

2015年- 日本行政学会顧問

2013-2016年, 2016-2019年（再任, 任期3年）国際行政学会 International Institute of Administrative Sciences (IIAS) 諮問委員会委員長, Chairman, Programme and

Research Advisory Committee (PRAC), 執行理事会理事等, Ex-Officio Member, Council of Administration, etc.

2001年 Business Week 誌 Stars of Asia 賞 (政治行政部門, 日本人公務員として初)

1. 業績 (A)

(1) 学会講演等

- * International Conference on Public-Sector Productivity、Asian Productivity Organization (アジア生産性機構) & Malaysian Productivity、2016年8月、マレーシア・クアラルンプール
 - keynote speech: “A New Government-Citizen Relationship & Productivity: Towards a People-Centered and Productive Government”
 - session speech: “Administration Reform for Higher Productivity”
 - panelist: “Measuring Performance Through Citizen Perspective”

2. 業績 (B)

(1) 書評・解説等

- * 「日本の政治と行政の現状と課題～いま思うこと」『季刊行政相談』No.149、2016年5月

3. 教育

(1) 講義

- * Structure and Process of Government (英語、春学期)
- * Introduction to Public Policy Studies (Petchko 教授と共同、Public Policy Studies (全体の2/3の講義) 担当: 堀江、Academic Writing (全体の1/3) 担当: Petchko、英語、秋学期)
- * Young Leaders Program Colloquium (英語、秋学期及び春学期)
- * Young Leaders Program Field Trip (下村教授と共同、英語、年2回)
- * 行政の改革・革新と政策評価 (日本語、春学期)
- * 公共経営と制度・組織設計 (日本語、秋学期)

(2) 論文指導

- * One-year Master's Program of Public Policy (MP1): 修士課程1名 (主指導、学位取得)
- * Young Leaders Program: 修士課程2名 (主指導、うち1名学位取得)
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube): 博士課程2名 (主指導1名、副指導1名)
- * 外国人客員研究員 (中国人民大学講師) (1人) の指導
- * ベトナム政府3か月研究・研修生に対する論文指導 (3人)

(3) 研修事業

- * タイ・マヒドン大学研修 (教員・学生への講義)、4月25日
- * タイ・KPI 訪日研修 (講義)、4月28日
- * タイ・KPI 研修 (遠隔講義)、11月15、30日
- * タイ公共管理及びリーダーシップ開発研修プログラム (PMLTP: タイ若手幹部候補公務員研修) (企画・実施責任者及び講義、ワークショップ等担当) 5月23日-6月3日
- * 21世紀におけるリーダーシップ開発・マネジメント研修 (タイ王国政府課長クラス幹部公務員研修) (企画・実施責任者及び講義等担当) 第1回6月14-16日、第2回6月27-29日、第3回7月5-7日

- * バングラデシュ政府（内閣官房次官等）職員研修（企画・実施責任者及び講義、ワークショップ等担当）7月11-15日
- * インドネシア政府国家開発計画庁（BAPPENAS）職員研修（Training of Trainers）（BAPPENAS職員及び大学教員が参加）（企画・実施責任者及び講義、ワークショップ等担当）7月18-29日
- * インドネシア海洋水産省職員研修（企画・実施責任者及び講義、ワークショップ等担当）、8月22日-9月2日
- * タイ政府OCS（国務委員会）研修（企画・実施責任者及び講義担当）9月6-9日
- * ベトナム政府副大臣研修（企画・実施責任者及び講義担当）10月17-26日
- * ベトナム共産党幹部職員研修（3か月間研修）（3人の受け入れ・指導）10-12月
- * タイNIDA学生・教員に対する講義、10月25日
- * ベトナム共産党地方省幹部研修（講義）11月9日
- * インドネシアBPKP研修（講義）11月23日
- * 名古屋大学YLPとの交流/研修、6月22日
- * EUなどにおける研修事業等に関する調査、2月

4. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 研究教育評議会
- * 修士課程委員会
- * グローバルリーダー育成センター運営委員会（委員長）
- * 疫学研究倫理審査委員会
- * 国際交渉力のある人材育成構想 検討委員会
- * 国際交渉力のある人材育成プロジェクト 外交アカデミープログラム
- * Young Leaders Program Committee（委員長）
- * 修士課程公共政策プログラム（地域政策／医療政策／農業政策／地域振興・金融）コミテーター
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee

(2) その他

- * グローバルリーダー育成センター所長
- * Young Leaders Program ディレクター
- * GRIPS International Advisory Committee 出席（2017年3月6-7日）

5. 社会的貢献（A）

(1) 国および地方公共団体等における活動

- ① 審議会等
 - * 文部科学省 Young Leaders Program 協議会委員

(2) 他大学・研究所等における活動

- ① 非常勤講師（顧問教授、客員教授等）
 - * 北京大学、復旦大学、南開大学、北京外国語大学
 - * 北京大学大学院現代日本研究コース講義（2017年3月28日-4月2日）

- * 自治大学校国際研修講義（2016年5月30日）
 - * JICA・人事院国際行政研修講義（2016年5月31日、10月25日、2017年2月9日）
 - * アジアシード・留学生研修（2017年3月27日）
- (3) 学会等における活動
- * 日本行政学会, 顧問（2015年5月～）
 - * 国際行政学会（International Institute of Administrative Sciences, IIAS）
 諮問委員会（Programme and Research Advisory Committee, PRAC）委員長（Chairperson）、
 理事会（Council of Administration）、戦略委員会（Strategy Committee）などのメンバーと
 して、IIASの活動の企画、検討、実施に参画（2013年6月–2016年、2016年再任（任
 期は2019年までの3年間））
 - IIAS2016（年次大会（総会）、2016年9月中国成都で開催）の企画、運営に参画
 - PRAC委員長としてIIAS 2017（年次大会、2016年フランス Aix-en-Provence で開催）
 のテーマ、サブテーマ、call for paper の検討、general rapporteur、rapporteur の選考等
 - * アジア生産性機構（Asian Productivity Organization）
- (4) その他
- * 北京大学日本国際校友会会長、代表理事

6. 社会的貢献（B）

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
- ① 印刷メディア（新聞、雑誌等）
- * 「世界ランキングのいろいろ」『行政&情報システム』2016年6月
 - * 「APO（アジア生産性機構）の会議で思ったこと」『行政&情報システム』2016年10月
 - * 「時事問題へのアプローチ：政府発表とテタテとメディアの在り方について」『行政&情報システム』2017年2月